

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第 1 0 1 回)

2 0 2 2 年 1 月 ~ 3 月 期 実 績

2 0 2 2 年 4 月 ~ 6 月 期 見 通 し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町 3 - 6

TEL 0 2 7 6 (4 5) 2 1 2 1

FAX 0 2 7 6 (4 5) 1 0 8 8

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
----------------------	---

調査目的や対象企業（業種）、回答率など

設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
---------------------	---

9つの質問に対する業種別による回答状況

業種別D I 値について・・・・・・・・	5
----------------------	---

6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント

全体D I 値について・・・・・・・・	9
---------------------	---

全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移

比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
-----------------------	----

同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較

（中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2022年3月
- ② 調査対象期間 今期（2022年1月～3月期）に対する前期（2021年10月～12月期）及び前年同期（2021年1月～3月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	209	77.4 (%)
輸送機器	40	→	29	72.5 (%)
その他製造	40	→	34	85.0 (%)
建設業	50	→	45	90.0 (%)
卸売業	30	→	20	66.7 (%)
小売業	40	→	31	77.5 (%)
サービス業	70	→	50	71.4 (%)

5. DI値について

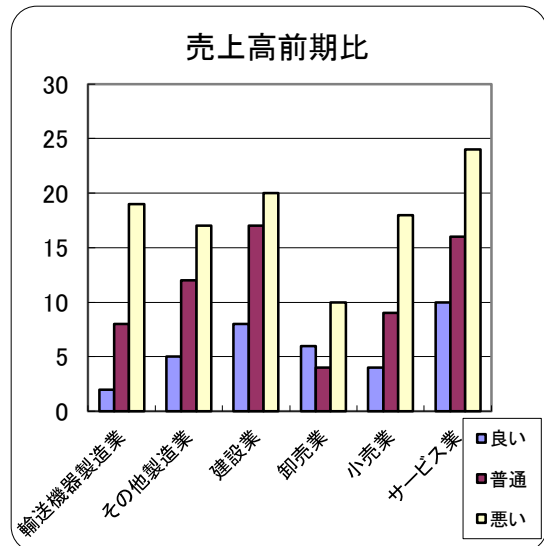
DIとは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、DI値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

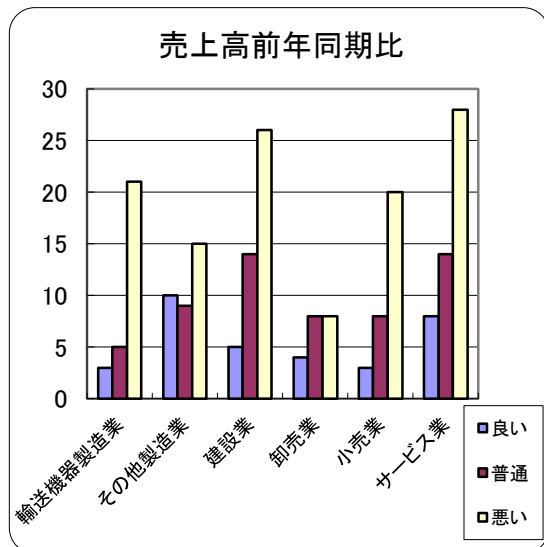
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	8	19	29	▲ 58.6
その他製造業	5	12	17	34	▲ 35.3
建設業	8	17	20	45	▲ 26.7
卸売業	6	4	10	20	▲ 20.0
小売業	4	9	18	31	▲ 45.2
サービス業	10	16	24	50	▲ 28.0
合計	35	66	108	209	▲ 34.9



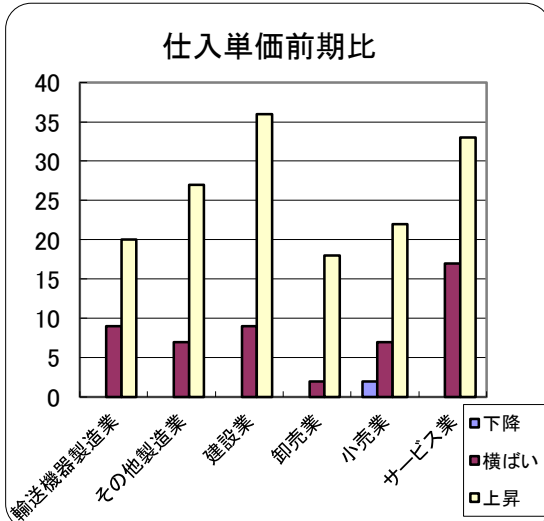
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	5	21	29	▲ 62.1
その他製造業	10	9	15	34	▲ 14.7
建設業	5	14	26	45	▲ 46.7
卸売業	4	8	8	20	▲ 20.0
小売業	3	8	20	31	▲ 54.8
サービス業	8	14	28	50	▲ 40.0
合計	33	58	118	209	▲ 40.7



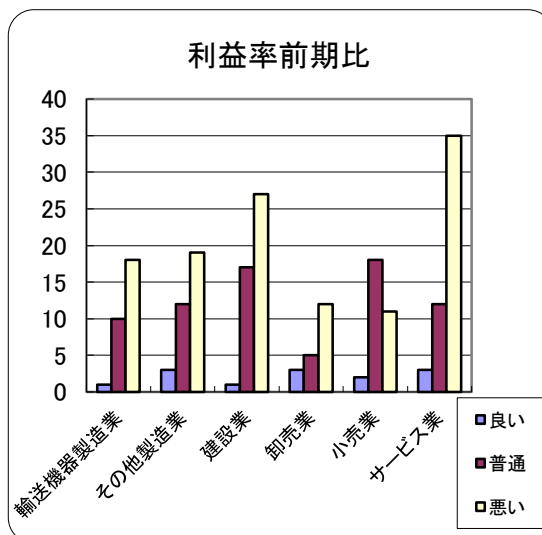
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	9	20	29	▲ 69.0
その他製造業	0	7	27	34	▲ 79.4
建設業	0	9	36	45	▲ 80.0
卸売業	0	2	18	20	▲ 90.0
小売業	2	7	22	31	▲ 64.5
サービス業	0	17	33	50	▲ 66.0
合計	2	51	156	209	▲ 73.7



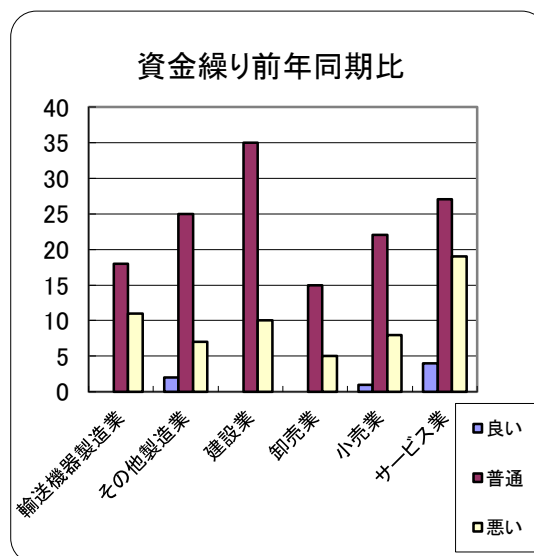
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	10	18	29	▲ 58.6
その他製造業	3	12	19	34	▲ 47.1
建設業	1	17	27	45	▲ 57.8
卸売業	3	5	12	20	▲ 45.0
小売業	2	18	11	31	▲ 29.0
サービス業	3	12	35	50	▲ 64.0
合計	13	74	122	209	▲ 52.2



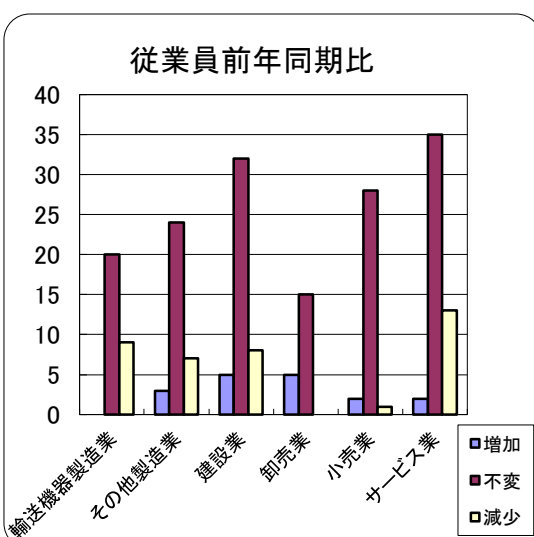
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	0	18	11	29	▲ 37.9
その他製造業	2	25	7	34	▲ 14.7
建設業	0	35	10	45	▲ 22.2
卸売業	0	15	5	20	▲ 25.0
小売業	1	22	8	31	▲ 22.6
サービス業	4	27	19	50	▲ 30.0
合計	7	142	60	209	▲ 25.4



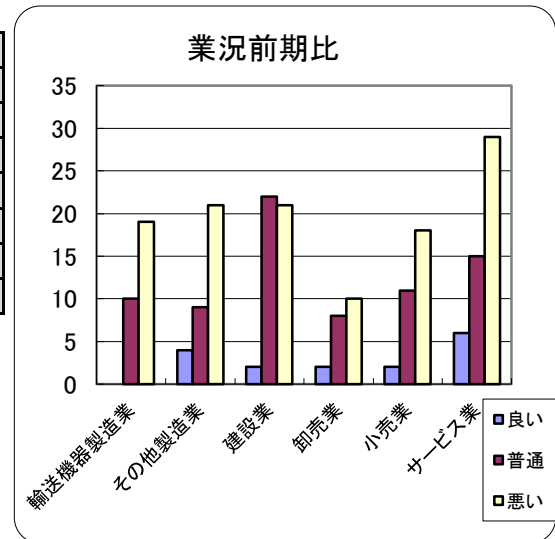
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	0	20	9	29	▲ 31.0
その他製造業	3	24	7	34	▲ 11.8
建設業	5	32	8	45	▲ 6.7
卸売業	5	15	0	20	25.0
小売業	2	28	1	31	3.2
サービス業	2	35	13	50	▲ 22.0
合計	17	154	38	209	▲ 10.1



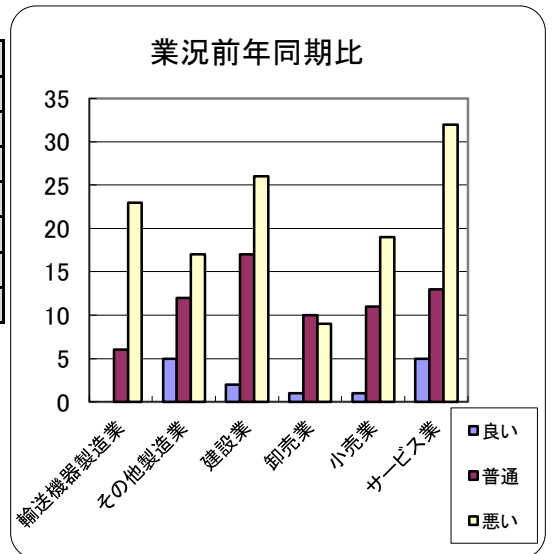
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	0	10	19	29	▲ 65.5
その他製造業	4	9	21	34	▲ 50.0
建設業	2	22	21	45	▲ 42.2
卸売業	2	8	10	20	▲ 40.0
小売業	2	11	18	31	▲ 51.6
サービス業	6	15	29	50	▲ 46.0
合計	16	75	118	209	▲ 48.8



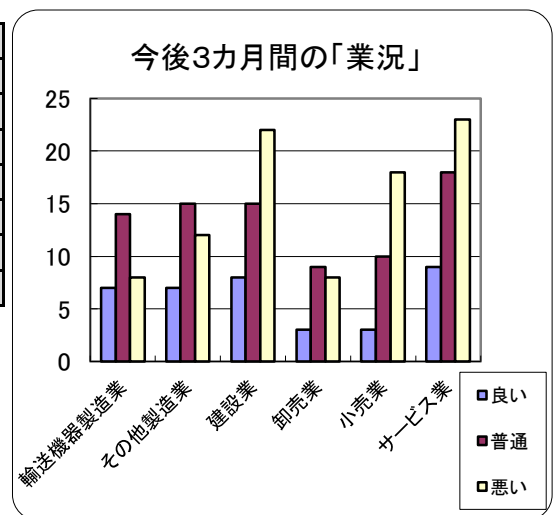
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	0	6	23	29	▲ 79.3
その他製造業	5	12	17	34	▲ 35.3
建設業	2	17	26	45	▲ 53.3
卸売業	1	10	9	20	▲ 40.0
小売業	1	11	19	31	▲ 58.1
サービス業	5	13	32	50	▲ 54.0
合計	14	69	126	209	▲ 53.6



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	14	8	29	▲ 3.5
その他製造業	7	15	12	34	▲ 14.7
建設業	8	15	22	45	▲ 31.1
卸売業	3	9	8	20	▲ 25.0
小売業	3	10	18	31	▲ 48.4
サービス業	9	18	23	50	▲ 28.0
合計	37	81	91	209	▲ 25.8



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 3.4	▲ 58.6	▲ 55.2
売上高前年同期比	▲ 65.5	▲ 62.1	3.4
仕入単価前期比	▲ 65.5	▲ 69.0	▲ 3.5
利益率前期比	▲ 17.2	▲ 58.6	▲ 41.4
資金繰り前年同期比	▲ 34.5	▲ 37.9	▲ 3.4
従業員前年同期比	▲ 13.8	▲ 31.0	▲ 17.2
業況前期比	3.5	▲ 65.5	▲ 69.0
業況前年同期比	▲ 62.1	▲ 79.3	▲ 17.2
今後3ヶ月間の業況見通し	0.0	▲ 3.5	▲ 3.5

[企業コメントより]

- ・原材料の高騰(が厳しい)【樹脂部品加工】
- ・電装部品の入手がモノによって難しくなっている(納期)作業が止まってしまうことが多い【機械設計製造】
- ・コロナと戦争(の影響が大きい)【金属表面処理】
- ・資材や燃料の価格上昇が止まらないので、数量は横ばいか、やや減少傾向にある【金属部品加工】
- ・暫時自動車生産の停止が発生すると予想されるため【自動車内装部品】
- ・半導体(部品等)も不足による車の減産が主要因【樹脂部品加工】

その他製造業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	▲ 35.3	▲ 35.3
売上高前年同期比	▲ 6.1	▲ 14.7	▲ 8.6
仕入単価前期比	▲ 84.9	▲ 79.4	5.5
利益率前期比	▲ 54.6	▲ 47.1	7.5
資金繰り前年同期比	▲ 33.3	▲ 14.7	18.6
従業員前年同期比	▲ 21.2	▲ 11.8	9.4
業況前期比	▲ 12.1	▲ 50.0	▲ 37.9
業況前年同期比	▲ 15.2	▲ 35.3	▲ 20.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 39.4	▲ 14.7	24.7

[企業コメントより]

- ・冬物に比べて春物の受注が少ない【繊維製品製造】
- ・新型コロナウイルスの影響で、末端ユーザーが生産を延期したため【化学製品製造】
- ・コロナの影響から早く抜け出し、売上(受注)が延びると良いと思う【電気製品製造】
- ・半導体不足により、自社製品に必要な部品がそろわず、納品できない。そもそも納期未定のため仕事を受注できない。それだけでなく、長期化するまん防により営業活動が妨げられ受注量減。コロナ対策の金融支援の継続を強く望む。【産業機械製造】
- ・コロナと半導体不足の影響による各自動車メーカーの生産活動が1日も早く通常に戻って欲しい【産業機械製造】
- ・新型コロナウイルスや部材供給不足により、前期より売上高が減少していますが、今後増々必要とされる半導体市場のため、当社も中長期的に成長していく見込みとなります【電子部品製造】
- ・群馬県では早くからまん延防止等重点措置が取られ、12月までの好況から一転して悪化した。そのため、また岸田政権発足前の状態に戻ってしまい、苦しい経営が続くものと覚悟を持つことにした【食料品製造】

・前年と比較すると開発の動きが悪く感じる。試作の仕事が少なく、部品加工の仕事は横ばい。4月から産廃に運搬費が追加になったり、工具も送料がかかるようになったり、アルミの価格がまた上がったり、色々なことにコストがかかるようになるので不安。プラスチック材料も品薄になっており、価格上昇が懸念される。コストがかかる分、製品を値上げしたいが、値上げすると見積もりが通らないので困る。

【樹脂製品加工】

・物価の上昇と資材の不足(が厳しい)【物流用資材製造】

建設業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 47.7	▲ 26.7	21.0
売上高前年同期比	▲ 34.1	▲ 46.7	▲ 12.6
仕入単価前期比	▲ 88.6	▲ 80.0	8.6
利益率前期比	▲ 43.2	▲ 57.8	▲ 14.6
資金繰り前年同期比	▲ 31.8	▲ 22.2	9.6
従業員前年同期比	▲ 2.3	▲ 6.7	▲ 4.4
業況前期比	▲ 40.9	▲ 42.2	▲ 1.3
業況前年同期比	▲ 45.5	▲ 53.3	▲ 7.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 43.2	▲ 31.1	12.1

[企業コメントより]

・官公庁の土木工事が少ない。木材・鉄の価格が落ち着かない。仕入が不安定【総合建設業】

・大型補正予算の実感がない！【土木工事】

・コロナとウクライナ情勢の両方の影響が出ている【エクステリア工事】

・材料の仕入単価上昇及びコロナによる電材関連の納期が不明の影響が出ています。加えて、従業員及び下請業者等の人手不足が大きい【建築付帯工事】

・見積もりがかなり少なくなってきた。全体的に悪い状況が見て取れる【建築付帯工事】

・材料値上がり分が、工事代に反映されない【建築付帯工事】

卸売業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	20.8	▲ 20.0	▲ 40.8
売上高前年同期比	▲ 4.2	▲ 20.0	▲ 15.8
仕入単価前期比	▲ 83.3	▲ 90.0	▲ 6.7
利益率前期比	▲ 12.5	▲ 45.0	▲ 32.5
資金繰り前年同期比	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0
従業員前年同期比	4.2	25.0	20.8
業況前期比	▲ 4.2	▲ 40.0	▲ 35.8
業況前年同期比	▲ 4.2	▲ 40.0	▲ 35.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 12.5

[企業コメントより]

・材料不足からの商品の欠品と値上がりに悩まされる毎日です【工事資材卸】

・介護保険下、レンタル(福祉用具貸出事業)が伸びております。これも営業マンエリアを広範囲からエリアを絞り、今まで訪問回数が一週間で1度しかできなかったものを、目標を3回と掲げ行けるようになり、売上増になりました【医療介護用品卸】

・7月に仕入先メーカーの値上げがある【小売・サービス用資材卸】

・仕入商品(自動車等)や販売時に掛かる経費等(ガソリンなど)が値上がりしている。また、取引先からの注文が減少している。【中古車販売】

小売業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 21.2	▲ 45.2	▲ 24.0
売上高前年同期比	▲ 36.4	▲ 54.8	▲ 18.4
仕入単価前期比	▲ 57.6	▲ 64.5	▲ 6.9
利益率前期比	▲ 45.5	▲ 29.0	16.5
資金繰り前年同期比	▲ 33.3	▲ 22.6	10.7
従業員前年同期比	▲ 6.1	3.2	9.3
業況前期比	▲ 24.2	▲ 51.6	▲ 27.4
業況前年同期比	▲ 39.4	▲ 58.1	▲ 18.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 39.4	▲ 48.4	▲ 9.0

[企業コメントより]

- ・基本的にはテイクアウトの業態なので、コロナの影響はほぼ無い状況です。今後はエネルギーコスト・原材料の値上げに伴う商品価格の改定を、一度だけでなく二度三度と行う予定です【菓子製造販売】
- ・2022年1～3月は新車の供給遅れがあり、厳しい状況が続いている【中古車販売】
- ・弊社は商業施設内にて、小売業をテナントにて営んでおります。コロナ感染者数が減少すると施設内の客数は増加してきましたが、販売時の接客方法・時間が従来と変わってしまったため、客単価が下がっています。又、輸入商品の仕入単価が急激に上がっており、販売価格を上げざるを得ず、売上に影響しております【化粧品・小物販売】
- ・コロナに加えてウクライナ、不安しかありません【食品加工販売】
- ・2年以上に及ぶコロナの影響で、飲食店の時短や休業により、卸売が全くダメ。唯一良かったのは太田市事業のペイペイポイント還元で、市外・県外の方が「たばこ」を買いに来てくれたこと位です。ぜひ今後も実施してもらいたい【飲料販売】
- ・コロナ禍で飲食店への納品がゼロに等しい。家飲みは給料が下がっているの見込めない【飲料販売】
- ・コロナ感染症対策の緩和措置により、人材の受け入れが可能となった。まだ長期的な安定を確保できる状況ではないため、今後の事業展開について検討中である【菓子製造販売】
- ・仕入単価の上昇が大きく、利益を圧迫している。今後も仕入高は続く見通し(原油高とコロナによる輸入の減少による)【生花店】
- ・まん防が出て以来、客数が下降してきている【嗜好品販売】

サービス業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	2.1	▲ 28.0	▲ 30.1
売上高前年同期比	▲ 10.4	▲ 40.0	▲ 29.6
仕入単価前期比	▲ 54.2	▲ 66.0	▲ 11.8
利益率前期比	▲ 33.3	▲ 64.0	▲ 30.7
資金繰り前年同期比	▲ 27.1	▲ 30.0	▲ 2.9
従業員前年同期比	▲ 14.6	▲ 22.0	▲ 7.4
業況前期比	▲ 20.8	▲ 46.0	▲ 25.2
業況前年同期比	▲ 27.1	▲ 54.0	▲ 26.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 16.7	▲ 28.0	▲ 11.3

[企業コメントより]

- ・コロナや世界情勢など、動きが大きすぎて予想がまったく出来ない【情報サービス】
- ・主要取引先の自動車生産の落ち込みがもろに響いています。毎月赤字が累積しています。取引先は助けてくれない【自動車陸送】
- ・燃料の値上げ(が厳しい)【運送業】

- ・業績の良いセクションと業績の悪いセクションが混在しているが、コロナにより業績の悪いセクションは更に落ち込んでおり、全体として厳しくなっている状況である。これから先も不透明で好材料は少ない【広告代理店】
- ・時短要請等で客足は減ってしまっています。解除になってもなかなか戻ってきません。食材も値上がりして全体的に大変です【レストラン】
- ・1月21日からのまん延防止重点措置が延長含めて合計60日間、時短になったため、通常の商売が難しい。コロナウイルスの早期の終息を願うばかりです【レストラン】
- ・材料費、ガソリン等の高騰により、今は何とか回っているが、今後に不安がある【飲食店】
- ・まん延防止等重点措置適用による売上減少【飲食店】
- ・当社の得意とする分野でウィズコロナで基本、初心に戻り邁進したいと考えます、引き続きケータリング強化と小・中規模宴会を充実したいと考えます【飲食・サービス】
- ・まだまだコロナ以前の来客数・売上ともに戻らない中、光熱費や色々な物が値上がりになっているので大変です【理容業】
- ・ロシア、ウクライナの「戦争」が始まった為、色々な金属の値段が値上がりをしています。アルミニウムインゴットは全世界の2〜3割をロシアで生産しているため、この分が出てこないとなると、未だかつてない値段になります。ましてや原油、ガスも止まる(輸入量が減る)となると未恐ろしい予想が立てられます。コロナ禍と戦争と100年前にもあったかもしれないが我々には初の事、この先どうなるか？【資源回収】
- ・仕入商品がかなりの品目で値上げされており、利益率がかなり悪くなっている。やはりまん防が終了しないと宴会がない為苦しい！【飲食店】
- ・仕入業者が軒並み値上げの見積書を毎日のように持って来て困惑している。時短営業が終了すれば、今度は顧客が戻って来やすい環境を作ることと、仕入れ値が上がったメニュー単価をどうするか…この狭間で悩みは尽きない。この状況で今後3カ月の見通しは全く予想が付かないが、GotoEat再開などの支援に期待して頑張りたい【飲食店】
- ・コロナでまん延も延長でどうなるかわからない【飲食店】
- ・仕入れ、経費(光熱費)全て上昇し厳しい状況【飲食店】

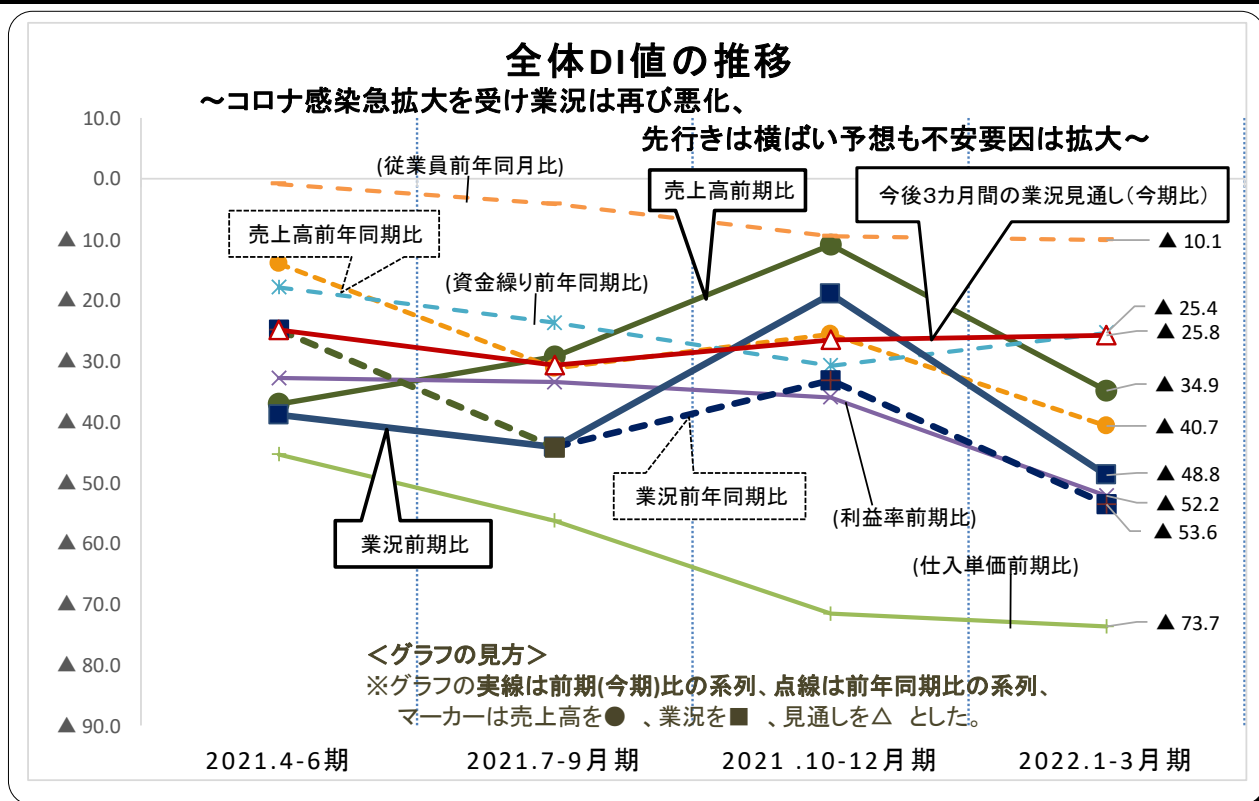
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 10.9	▲ 34.9	▲ 24.0
売上高前年同期比	▲ 25.6	▲ 40.7	▲ 15.1
仕入単価前期比	▲ 71.6	▲ 73.7	▲ 2.1
利益率前期比	▲ 36.0	▲ 52.2	▲ 16.2
資金繰り前年同期比	▲ 30.8	▲ 25.4	5.4
従業員前年同期比	▲ 9.5	▲ 10.1	▲ 0.6
業況前期比	▲ 19.0	▲ 48.8	▲ 29.8
業況前年同期比	▲ 33.2	▲ 53.6	▲ 20.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 26.5	▲ 25.8	0.7

(4) 動向について

- ・1～3月期は急激なコロナ感染拡大と資材不足・物価高騰の影響を受け、ほとんどの業種で売上高や利益率が大きく悪化するなど、業況前期比DIは再び全ての業種で低下した。
- ・業種別に業況前期比DIをみると、部品供給制約が続く輸送機器が69.0ポイント低下、その他製造業や卸売業も35ポイント以上低下と、大幅に悪化している。
- ・今後の業況見通しDIは、全業種ベースではほぼ横ばいの予想であったが、建設業、その他製造業以外の業種は全て低下を見込むなど、コロナや戦争の影響など先行きへの警戒感も続いている。

全 体 D I 値 の 推 移	2021.4-6期	2021.7-9月期	2021.10-12月期	2022.1-3月期
売上高前期比	▲ 37.1	▲ 29.3	▲ 10.9	▲ 34.9
売上高前年同期比	▲ 14.0	▲ 31.2	▲ 25.6	▲ 40.7
仕入単価前期比	▲ 45.4	▲ 56.3	▲ 71.6	▲ 73.7
利益率前期比	▲ 32.8	▲ 33.5	▲ 36.0	▲ 52.2
資金繰り前年同期比	▲ 17.9	▲ 23.7	▲ 30.8	▲ 25.4
従業員前年同期比	▲ 0.9	▲ 4.2	▲ 9.5	▲ 10.1
業況前期比	▲ 38.9	▲ 44.2	▲ 19.0	▲ 48.8
業況前年同期比	▲ 24.9	▲ 44.2	▲ 33.2	▲ 53.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 24.9	▲ 30.7	▲ 26.5	▲ 25.8



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 46.0	▲ 13.6	－	－
建設業	▲ 26.7	▲ 21.3	－	－
卸売業	▲ 20.0	▲ 16.9	－	－
小売業	▲ 45.2	▲ 29.0	－	－
サービス業	▲ 28.0	▲ 28.3	－	－
全 体	▲ 34.9	▲ 23.5	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 36.5	－	▲ 8.8	2.7
建設業	▲ 46.7	－	▲ 19.5	1.1
卸売業	▲ 20.0	－	▲ 12.5	
小売業	▲ 54.8	－	▲ 30.0	
サービス業	▲ 40.0	－	▲ 20.4	
全 体	▲ 40.7	－	▲ 18.5	1.4

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 74.6	－	▲ 71.2	－
建設業	▲ 80.0	－	▲ 75.8	－
卸売業	▲ 90.0	－	▲ 61.0	－
小売業	▲ 64.5	－	▲ 53.5	－
サービス業	▲ 66.0	－	▲ 49.2	－
全 体	▲ 73.7	－	▲ 61.4	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 52.4	▲ 29.4	▲ 26.4	▲ 4.9
建設業	▲ 57.8	▲ 34.6	▲ 27.1	0.0
卸売業	▲ 45.0	▲ 27.0	▲ 25.7	
小売業	▲ 29.0	▲ 49.9	▲ 36.8	
サービス業	▲ 64.0	▲ 44.7	▲ 32.8	
全 体	▲ 52.2	▲ 39.9	▲ 30.3	▲ 1.4

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 25.4	▲ 15.3	▲ 16.1	11.0
建設業	▲ 22.2	▲ 10.9	▲ 7.6	9.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 12.7	▲ 14.6	
小売業	▲ 22.6	▲ 26.5	▲ 25.7	
サービス業	▲ 30.0	▲ 23.4	▲ 25.0	
全 体	▲ 25.4	▲ 19.9	▲ 18.9	10.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 20.6	▲ 7.9	—	—
建設業	▲ 6.7	▲ 3.2	—	—
卸売業	25.0	▲ 6.2	—	—
小売業	3.2	▲ 4.7	—	—
サービス業	▲ 22.0	▲ 9.5	—	—
全 体	▲ 10.1	▲ 6.9	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 57.1	▲ 17.6	—	▲ 4.0
建設業	▲ 42.2	▲ 17.9	—	10.0
卸売業	▲ 40.0	▲ 21.7	—	▲ 9.0
小売業	▲ 51.6	▲ 36.6	—	▲ 23.0
サービス業	▲ 46.0	▲ 31.3	—	▲ 66.0
全 体	▲ 48.8	▲ 26.6	—	▲ 6.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

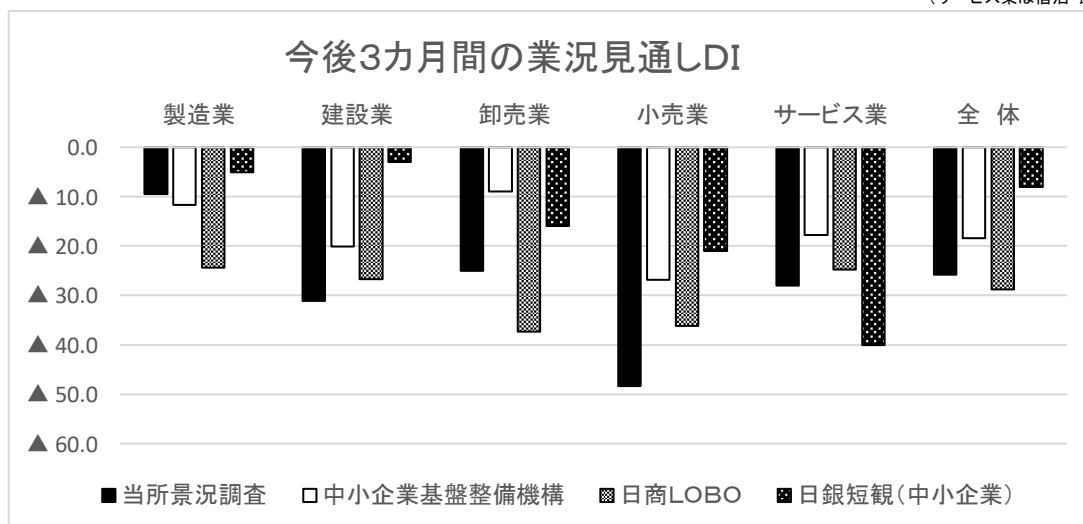
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 55.6	—	▲ 17.7	—
建設業	▲ 53.3	—	▲ 22.7	—
卸売業	▲ 40.0	—	▲ 29.9	—
小売業	▲ 58.1	—	▲ 37.1	—
サービス業	▲ 54.0	—	▲ 34.2	—
全 体	▲ 53.6	—	▲ 28.3	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 9.5	▲ 11.7	▲ 24.4	▲ 5.0
建設業	▲ 31.1	▲ 20.1	▲ 26.7	▲ 3.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 8.9	▲ 37.3	▲ 16.0
小売業	▲ 48.4	▲ 26.9	▲ 36.2	▲ 21.0
サービス業	▲ 28.0	▲ 17.7	▲ 24.7	▲ 40.0
全 体	▲ 25.8	▲ 18.4	▲ 28.8	▲ 8.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2022年（令和4年）4月21日 発行